



<校訓>
正しく
明るく
たくましく

長浜市立高月中学校
学校報 第10号
令和4年11月4日発行
文責：柴田 俊一

中体連秋季大会・市吹奏楽祭

10月14日(金)、季節が逆戻りしたかのような暑い一日でしたが、中体連の秋季総合体育大会と市の吹奏楽祭が各会場で開催されました。この大会は、夏に3年生が部活動を引退し、新チームとなって初めて臨む公式の大会です。これまで、新しい部長、副部長のもと、1,2年生が練習を積み重ねてきた成果を発揮する場となります。残念ながら、団体競技では、他校との合同チームという形での出場となった部もありましたが、そうしたハンディを乗り越えて合同練習を重ね、大会に臨みました。

中体連秋季大会の主な結果は、以下のとおりです。 ※敬称略。個人情報取扱にご留意ください。

○野球：本校・西浅井合同チーム 2-4 対湖北・浅井合同チーム

○サッカー：本校・虎姫・長浜北合同チーム 3-0 大東中

本校・虎姫・長浜北合同チーム 0-0 長浜東・長浜南合同チーム

※PK戦1-4で敗退

○ソフトボール：本校・長浜西合同チーム 22-0 聖徳中

本校・長浜西合同チーム 17-0 日枝・竜王合同チーム

※強化練習会：対長浜北中 10-9で勝利

※4ブロック合同開催で優勝→県大会リーグ優勝

○女子バレーボール：本校 2-0 浅井中

※強化練習会 対長浜西中 2-0で勝利

対湖北中(準決勝) 1-2で敗退

対長浜北中(3位決定戦) 0-2で敗退→県大会へ

○剣道：(個人戦男子) 田中 大和 ベスト8 (個人戦女子) 横井 咲心 準優勝

※(団体戦女子)→県大会出場 第8位

○男子ソフトテニス：(団体戦) 2位→県大会へ

(個人戦) 長谷川・山根組 3位→県大会へ

横山・津田組 9位→県大会へ

後藤・片桐組 10位→県大会へ

○女子ソフトテニス：(団体戦) 3位

(個人戦) 小林・北村組 4位→県大会へ

○柔道県大会：(個人戦男子) 中上 大輝 ベスト8、杉本 蓮 ベスト8

○陸上：女子100MH 片桐 渚紗 7位



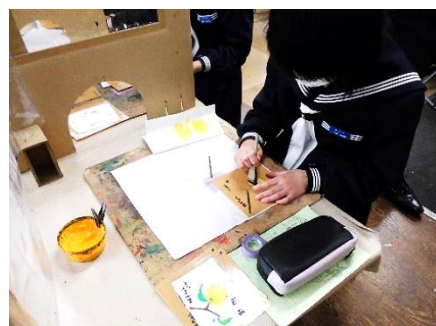
高月学区小中合同グリーン作戦

10月22日(土)の午後に高月学区4小学校と中学校が共同して、グリーン作戦を実施しました。この事業は、各校の学校運営協議会合同の事業で、コロナ禍のため、実に3年ぶりの実施となりました。目的としては、「ふるさと高月の環境美化に資する地域貢献活動を通して、地域への関心を高め、郷土愛を育むとともに、よりよい地域づくりに積極的に関わろうとする態度を育てること」、「小中合同で取り組むことにより、異年齢・異校種間のたての交流を深めること」の二つです。事前に各字の自治会長に依頼して、作業内容等を決定し、自分たちの住む字の除草やごみ拾い、花植えなどを小学生とともに行いました。特に中学生は、小学生のお手本となるべく、あいさつや説明をしたり、指示を出したりと先輩としてリーダーシップを発揮してがんばってくれました。わずかに1時間程度の作業でしたが、学校運営協議会委員の皆さんをはじめ、自治会長さんや役員の方、その他多くの方々もご協力いただき、無事にグリーン作戦を終えることができました。ありがとうございました。!



2年校外学習

10月27日(木)、2年生は京都校外学習に行きました。コロナ禍のため、京都への校外学習は3年ぶりの実施でした。午前中は日本で一番古い禅のお寺である建仁寺で座禅体験を行いました。ご住職から、座禅の仕方や禅の意味等の説明がありました。禅とは、「人の生き方」を表すもので、「人生の最後を迎える時の気持ちで生きなさい。」ということをお話いただきました。人間は、災害や病気、事故など、いつ何時死が訪れるかわからない存在であり、それらを「そういうものだ」と受け入れ、死を迎える時の気持ちをもって人と接したり、物事に取り組んだりしなさいと言われていました。生徒たちは、真剣な表情で聞き入っていました。座禅も姿勢を正し、緊張感をもって体験していました。とても学ぶことの多い体験でした。座禅体験の次は、丸益西村屋での京友禅染の体験でした。ハンカチやトートバックなどに自分の好きなデザインの型紙を選んで、色を染めていました。世界に一つだけのすばらしい作品をお土産として持ち帰りました。円山公園での昼食の後、清水寺に移動し、境内の班別研修を行い、参道の土産物店で自分や家族へのお土産を買いました。集合時間に誰一人遅れることなく帰ってくることができました。大変楽しく意義ある校外学習となりました。



令和4年度全国学力学習状況調査結果の概要について

4月19日(火)に実施された全国学力学習状況調査の結果がその分析とともに出されました。今回の調査教科は、国語、数学、理科の3教科で、本校の正答率は全国平均と比べ良好な結果が見られました。分析結果をもとに今後の学習指導や生活指導に生かしていきたいと思えます。

<国語> ○優れている点 = 言語の特徴や使い方・我が国の言語文化の領域、言語の知識・理解

△課題 = 表現の技法の理解や工夫

<数学> ○優れている点 = 数と式・データの活用の領域、数学的な説明・表現、資料の読み取り

△課題 = 図形の領域、数学的な定理の知識

<理科> ○優れている点 = すべての領域において概ね良好、知識・技能の活用、分析・解釈・説明

△課題 = 岩石に関する知識と技能の活用、実験の計画

<生活習慣や学習環境>

○優れている点 = 「いじめはいけない」「人の役に立ちたい」「自分で計画を立てて勉強」「読書習慣」

「地域行事への参加」「地域や社会をよくしたい」「ICT 機器の利用」「学級での話し合い」等

△課題 = 「家庭学習時間※」「自分にはよいところがある」等

※家庭学習：長時間する者は少ない反面、全くしない者も少ない傾向が見られる。